

2018年度 インドネシア バンドン工科大学サマープログラム 募集要項

【募集概要】

本プログラムには、バンドン工科大学での講義受講、アジア・オセアニア地域からの学生との交流、現地の文化学習、研究機関・インフラ施設訪問、テーマを決めての英語によるプレゼン等が予定されています。修士課程・博士課程の学生には、『国際研究研修』の単位が付与されます。また学士課程の学生については、グローバル理工人育成コースの科目の単位の取得が可能です(注)。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

【派遣先】 インドネシア バンドン

【渡航期間】 2018年7月31日(火)～8月19日(土) (20日間)
※航空便の関係で出発/帰着日が前後する場合があります。

【費用】 未定(過去の例 約16～19万円(航空券代、燃料サーチャージ、空港税等を含む))
*本プログラムの授業料は発生しません。
*バンドン工科大学より期間中の宿舎と食事が提供される予定です。
*フライトは大学が手配するチケットの利用となり、各自で旅行代理店に支払っていただきます。
*学士課程の学生(所属問わず)は前年度の成績評価係数の値が原則2.30以上の場合、JASSO(日本学生支援機構)より奨学金が支給される場合があります。なお国費と各国政府派遣の留学生は奨学金支給対象外です。
*大学の指定する海外旅行保険&危機管理サービスに加入してください。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生。国籍・性別・学年・所属は不問(学士課程、修士課程、博士課程の学生)。
*ただし応募者多数の場合は、工系3学院(工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院)および工学系に所属の学生を優先する。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. 学士課程の学生は、グローバル理工人育成コースに所属し、コース修了に向け4つの教育プログラムの科目履修単位取得を行っている学生を優先する。
*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。
<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>

【選考方法】書類審査及び面接

【募集人数】5～10名程度

【応募用紙提出先】工系国際連携室(本館2階50号室)へ直接持参または学内便(POST:H-106)で提出してください。
バンドン工科大学へ直接応募することはできません。

【応募締切】2018年6月1日(金) 正午必着

- *応募に際しては、類主任、系主任、学科長等の署名を必ず得てください。
- *研究室所属の方は、指導教員の署名も必要です。

【面接予定日】2018年6月6日(水) ※時間は追ってお知らせします。

【公募結果通知予定日】 面接後、速やかにお知らせします。

【事前・事後学習】

※スケジュールは変更になる可能性があります。

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。

2018年6月13日(水) 13:20 海外安全オリエンテーション(デジタル多目的ホール・大岡山キャンパス西9号館)

15:05-16:35 プログラムオリエンテーション(大岡山キャンパス南3号館323講義室)

2018年7月11日(水) 13:20-14:50 事前学習1:調査事項の発表(南3号館323講義室)

2018年7月25日(水)13:20-14:50 事前学習2:過去の参加者等によるブリーフィング等(南3号館323講義室)
2018年10月:留学報告会(場所等未定)

【奨学金支援】

〈学士課程〉

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(日本国籍または日本の永住権を有する方のみ)、または東京工業大学130年基金(留学生の方)の対象で、以下の基準を満たした学生には7万円が支給される場合があります(別途書類の提出が必要です)。必要書類については、選考後に説明されます。

奨学金支給基準:

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構(JASSO))
国費以外の留学生(東京工業大学基金)
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上(JASSO規定の計算式に基づく)であること。▶学業成績書で確認する。
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満(JASSO規定の計算式に基づく)の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合がある。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者
(原則として家計基準に合致する者)▶申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

(注)

1. 学士課程の1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1A」の単位が付与される。
2. 学士課程の3年生および下記の条件を満たす4年生の参加については、「グローバル理工人研修1A」の単位が付与される。
 - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。

〈修士・博士課程〉

奨学金の支給はありません。

【プログラムの問い合わせ先】

工系国際連携室 e-mail: ko.intl@jim.titech.ac.jp 電話: 03-5734-3859 (担当: 栗山)

本館2階50号室(本館正面玄関を入り、右手の階段を2階に上った突き当りの事務室)